

Virtual window shop

— 仮想商店街 —

Face-to-Face system



Staff



Staff Avatar

▲ 遠隔地からアバターを操作することで実店舗のようにリアルタイムに接客を行える。

Background



▲ 銀座駅を初め、都心部の多くの地下通路は暗く代わり映えのしない空間が続く場所になってしまっている。

IDEA

地下通路壁面をディスプレイ化し、実店舗をまだ持たないネットショップや商品化前のクラウドファンディングアイテムを取り扱う厚さ4cmの仮想商店街を作り出す。購入商品は郊外の物流施設から購入者の家へ直接配送される。店舗スタッフも遠隔地からアバターで接客を行うことが可能。

通路を歩く人のステータスによって仮想商店街の品揃えは刻々と変化。実店舗ともネットショッピングとも違う新しい体験を生み出す。

地価の高いエリアへ実店舗を構えることは難しいが、この仕組みによって、多くの人が出店を試ることが可能に。誰しものが銀座で出店するチャンスを持つことで、この地に関係性を持つ人がより多く広がっていく。